

〔科目名〕 学習導入演習		〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 アカデミック・コモンベシックス 基礎科目(必修科目)																					
〔担当者〕 王 聖書	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業内で案内する 場所: 506 研究室		〔授業の方法〕 演習																					
〔科目の概要〕 <p>大学での学びは、単に高校の延長ではありません。勉強内容のレベルが上がるだけではなく、学びの質も方法も異なります。大学は思考力が問われる世界であるため、受験勉強のように知識を覚えていくだけでは、学びの本質を味わうことができませんし、よい成績もとれないと思います。</p> <p>大学での学習に必要とされる探究、理解、議論および執筆の能力を身につけることが、本演習の目的です。具体的には、本や文章の読み方、文献や資料の調べ方、生成 AI の活用法、テーマの立て方、レポート構成および執筆のマナーなどを演習で習得します。さらに、この内容に加えて、学んだ知識を広く共有し、レポート内容のプレゼンテーションも行います。</p> <p>進捗状況によっては、授業スケジュールおよびその内容について調整する場合があります。</p>																								
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>大学には、授業科目が多種多様ですが、どの専門分野でもより高いレベルでの理解と応用を可能にするため、基礎となる知識を理解するだけではなく、それに関連する資料を読み解き、自分の考えや研究結果を論理的に表現する能力が求められます。</p> <p>1年生ではまだ、「好きなテーマ」や「探究したいテーマ」が見つかっていなくても仕方ないですが、4年間の勉強で、面白いテーマが増えていくことでしょう。面白いこと発見、探究しようという気持ちで、大学の授業を楽しんでください。</p>																								
〔科目の到達目標〕 <ul style="list-style-type: none"> ・自分で「知りたいこと」や「探究したい」テーマを設定できこと。 ・自分で設定したテーマ、もしくは与えられたテーマについて、自分で資料を調査し、批判的に読解できること。 ・レポートの構成を理解し、マナーに従って論理的にレポートを執筆できること。 ・自分の考えや研究成果を他者に伝えること。 																								
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○	○	○	○			
学部				学科																				
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																		
○	○	○	○																					
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>授業の中でクラスメイト同士が自然にコミュニケーションを取り、初めて話す相手とも交流を広げられた、生徒の意見に寄り添っている、先生が順序よく説明してくれたなどのコメントがあって、とても嬉しいです。学びの場が安心して意見を出し合える雰囲気になっていたのであれば、担当者として何よりの喜びです。</p>																								
〔教科書〕 適宜プリントを配布します。																								

〔指定図書〕 なし	
〔参考書〕 佐渡島紗織・吉野亜矢子(2021)『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第2版]—ライティングの挑戦 15週間』ひつじ書房 戸田山和久(2022)『最新版 論文の教室 レポートから論文まで』NHK 出版 岸啓介(2024)『一生使えるプレゼン上手の資料作成入門 完全版』インプレス	
〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 課題への取り組み, レポート, ディスカッションおよびプレゼンによる総合評価。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 自らの学びに対する責任を持つこと 異なる意見や文化を尊重し, 他の学生と交流しながら学習すること	
〔実務経歴〕 なし	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容: 授業の趣旨と内容, 自己紹介など 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): 大学での学び方 内 容: 大学で何を学ぶのか, どう学ぶのか, および大学の授業の種類を理解します。 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか): 文章読解① 内 容: 専門書・文献を読んで, 文章を要約します。 教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか): ②文章読解① 内 容: 専門書・文献を詳読し, 筆者の主張を理解します。 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): レポートの種類, 構成, 書式とマナー 内 容: 剽窃, 行き過ぎた表現, 倫理の欠如などレポートの基本的なルールを学びます。 教科書・指定図書
第6回	テーマ(何を学ぶか): 資料検索 内 容: 図書館やオンラインデータベースを利用し, 各自の興味・関心にもとづいて文献や資料を調べます。 教科書・指定図書

第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):引用と参考文献</p> <p>内 容:レポート作成のための引用の練習および参考文献の書き方を学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):生成 AI の利用</p> <p>内 容:AI をはじめとする新技術が社会に与える影響をよく理解し、プラス面を有効利用しながらもマイナス面が存在することを理解します。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):テーマの設定</p> <p>内 容:「好きなテーマ」や「探究したいテーマ」を設定します。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポート執筆①</p> <p>内 容:各自のテーマを絞り込み、参考文献や資料を検索します。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポート執筆②</p> <p>内 容:読者を意識し、分かりやすい文章を作成します。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポート執筆③</p> <p>内 容:根拠に基づいて文章を作成します。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポート執筆④</p> <p>内 容:グループディスカッションを行い、互いに良かった点、参考になった点などを議論します。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):プレゼンテーション①</p> <p>内 容:作成したレポートを基にプレゼンを行います。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):プレゼンテーション②</p> <p>内 容:作成したレポートを基にプレゼンを行います。</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	レポートの提出